

導下に邁進して行きたい。

二、中國の抗戦は正義であり自由解放を争ふためである勉めて世界の明朗化を求むるにある
九、一八以來この和平のため奮闘して來た現在の中國人は何人と雖も能く之を探知して
いるであらう、民主國家は相共に患難に處すべきであつて英はソ聯に努めつつあり大
統領も出来る範圍内に於て援ソする旨宣布した位であつた。

抗戦は吾等の運命である民族國家と共に和平を争ふのも至當の道である。

△四川電 六月二十七日 英語放送

獨蘇戰爭は當然長期化する、日本は獨逸に對し種々流言を造り獨逸の必勝を宣傳するであ
らうが是こそ日本の特徴である、蘇聯は我友である、我國は困難に陥つた蘇聯を當然救済
しなければならぬ、我國は蘇聯が難局に處して必ずや奮闘努力するものであることを知り
又世界の大局は支那の抗戦に極めて有利に展開したことを認識するものである。
我國は今英、米、蘇、西國に一致團結して飽迄抗戦に邁進するなら我國は必ずや最後
の勝利を得ることが出来る。

◎國共合作論

重慶方面よりの國共關係宣傳放送は、先に日ソ中立條約締結は、國共關係に若干の悪影響を
及ぼしたるも獨ソ開戦により日ソ條約の價值も判明し、中國の立場有利化せるのみならず國
共協力を促進せしめる動機となれり。

△マニラ電 (UP電) 六月三十日 厦門語放送

(重慶二十九日發) UP特派員フィリップ氏の語る所に依れば「獨逸の蘇聯進攻は國際情
勢を明朗化ならしむるのみならず中國の友を積極的に反侵略戦線に参加せしむべく中國政
治の緊張を緩和する希望あり、國民黨と共產黨の領袖の新陣線は國民黨と共產黨間の磨擦
を消除せしめ彼等の更に密接なる更に全力的な合作を激勸せん、共產黨のモスクワ贊助及
び英米に對する仇敵視及びその後の日蘇の中立條約締結は中國國民黨と共產黨間の衝突を
促進するに足れるも獨逸の蘇聯攻撃及び英米の即時援蘇及び日本の日蘇協定の價值に對す
る疑惑は既に國民黨と共產黨の衝突を消除せり、國民黨領袖は常に「中國共產黨のモスク
ワに對する忠を効すの念は其の中國政府に對する忠を効するの念より更に甚し」と云へり
されど蘇聯の新國際地位に依り中國共產黨は中國政府との合作を願へり、之を換言せば蘇
聯の中央米陣線参加は必ずや共產黨をして之が陣線に参加せしめん、中國共產黨は英國が
ヒットラーと合作し反ポルシェビズム戦争を爲すべしと懷疑せるも彼等は英米の援蘇保證

に依り安心せるもの如し、大公報は最近十八集團軍が山西に於て中興軍と協力せる正式報道を入手し喜びを表示せり、其の明かなる證左は獨軍が蘇聯に進攻せる日、共產黨重慶駐在代表周恩來は當地共產黨機關紙に一文を發表、國民黨に對し和平を諒ぜり、其の文に依れば「解放の戰爭中に必ず一中心ありて全國を結ぶべきなり、過去四年間此の中心は孫總理の三民主義なりき、我等共產黨も此の一中心を擁護す、共產黨は國民黨内部の進歩及び發展を贊美す、之中國勝利の重要素なり、共產黨の反對する所は僅か其の中の頑固分子に對するのみ」と論ぜり」と。

◎日首相、對米親善を望む

△イス・デヤイナ・デーリ・ニュース 七月二日

(東京一日發UP電アーサー・モンケン)「バラマウント」ニュースカワラマンタルメンケンは近衛首相との會見談を報し首相は次の如く述べ「日本は對米親善維持を熱望しあり兩國が友情を繼續し得ざる理由なし、日本は對獨ソ兩條約を守るつもりにして獨逸は西部ソ聯戦線で勝利を得るやも知れざるも直ちにソ聯は崩壊又はスターリン政權の破滅を來さるべし日獨協定は米國の歐洲戰參加を防ぐために成立せるものにして三國同盟の性質は

防禦的なり米國が此の精神を解する事を予は欲す」

◎防共協定、本年秋季に失効

△香港電臺 六月三十日 廣東語放送

(ロンドン三十日發)日本は一九三六年十一月十五日防共協定に調印せり、同協定の期限は五年なり、故に當地某觀察家の意見に依れば同協定は本年秋季には失効となるべしと、同協定を見るに凡ソ協定國は第三インターナショナルの活動を彼我相通告し共產黨の宣傳を抑制、又永久委員會を設立し此の目的を推進すべき旨明承しあり、獨官邊通信社の發表に依れば「ベルリン政界は現在日獨伊三國協定の延長討論を欲せず」と。